



February

洛北中学校通信



「学校をよくしていくために」令和6年度学校評価アンケート結果

2月もあと2日を残すところとなり、令和6年度も早いものでひと月となりました。

3年生は私学入試、公立高校前期選抜が終了し残すは中期選抜と後期選抜となりました。卒業式も近づいてきており大詰めを迎えています。一日一日を大切に過ごししながら、これまで一緒に過ごしてきた仲間との時間も大事にしている様子が「ザ・学校」を感じています。「青春」いい響きです。

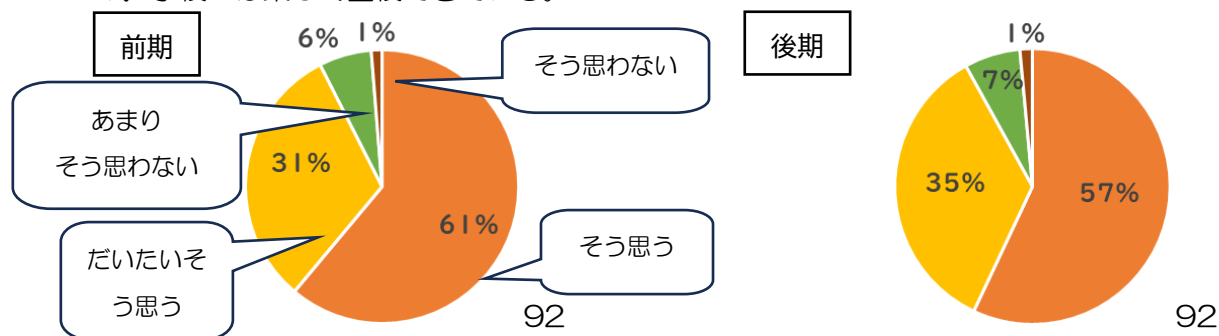
また、1年生、2年生においてはどのような形で今の学年、クラスを終え次の学年に向かうのか大変大きなウェイトを占める締めくくりの時期にきています。洛北確認テストも終わり、送る会に向けて取り組んでくれているところだと思います。成長した姿を存分に披露し、進級してもらいたいと願います。

さて、後期の学校評価アンケートへの回答ありがとうございました。

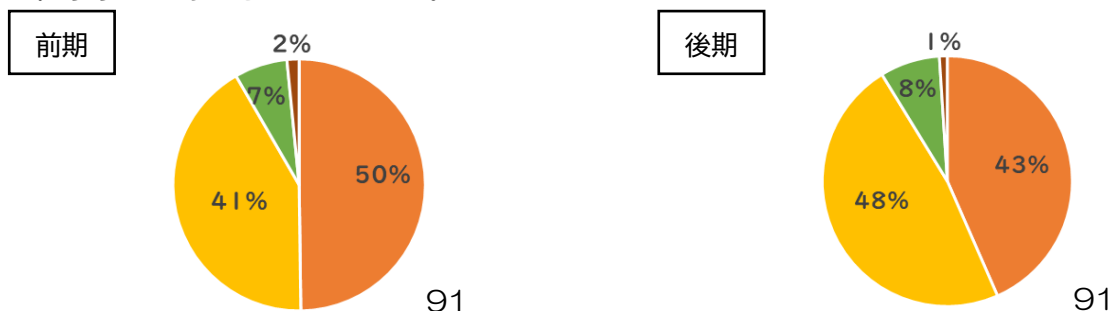
前期・後期の生徒のみなさん、保護者のみなさまのアンケート結果を基に洛北中学校の現状を分析するとともに次年度に向けた方向性をお示しいたします。

<令和6年度 学校評価 生徒アンケート>

1. 学校へは楽しく登校できている。

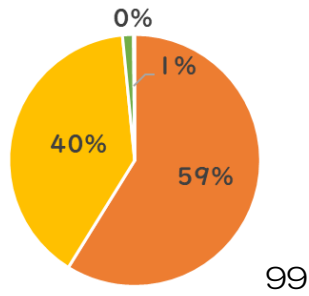


2. すすんであいさつをしている。

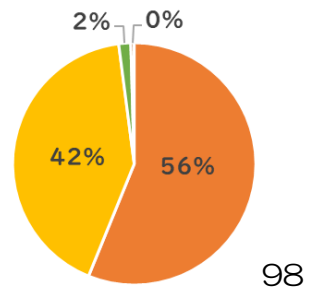


3. 学校のきまりや約束を守っている。

前期

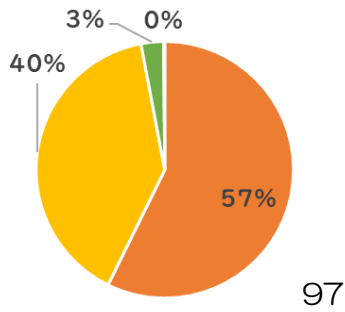


後期

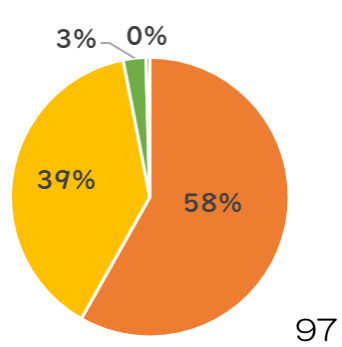


4. ベル着を守るなど、時間を大切にしている。

前期

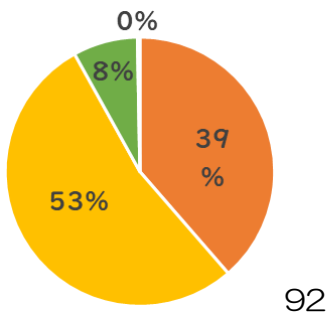


後期

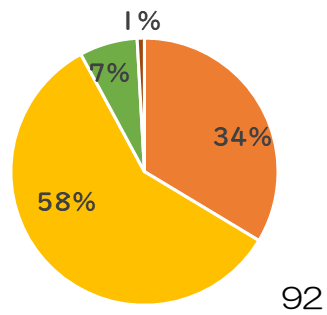


5. わかりやすい授業が行われている。

前期

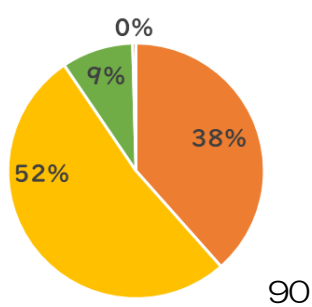


後期

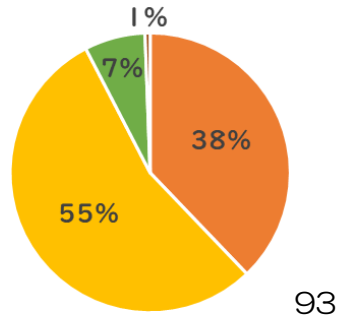


6. 授業ですすんで学習に取り組んでいる。

前期

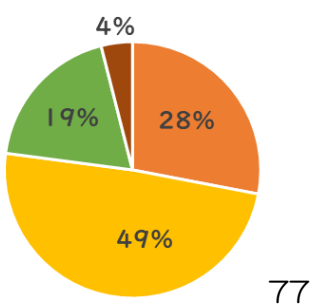


後期

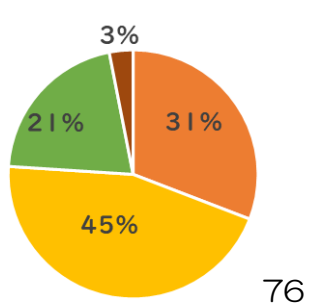


7. 規則正しい生活をしている。

前期

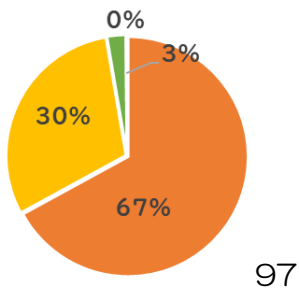


後期

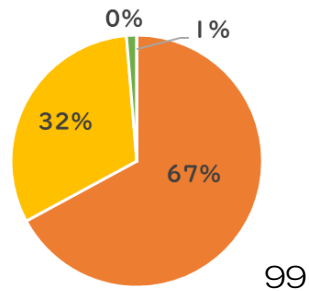


8. 標準服を正しく着こなしている。

前期

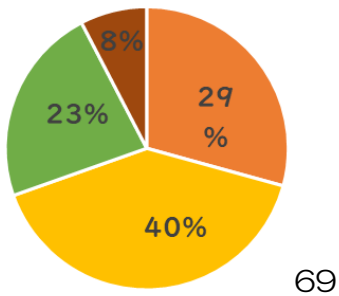


後期

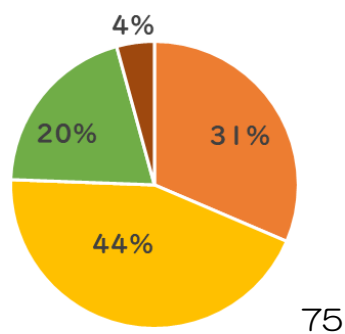


9. 家庭学習の習慣は身につけている。

前期

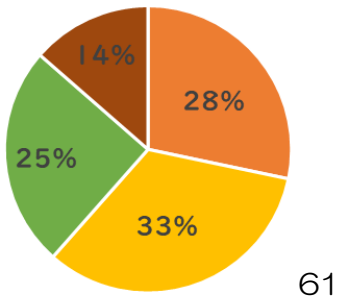


後期

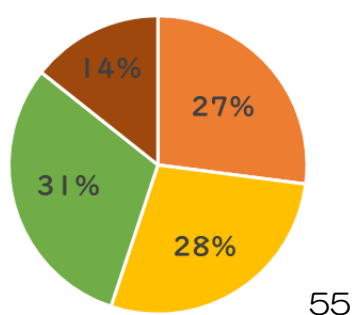


10. 読書の習慣は身につけている。

前期

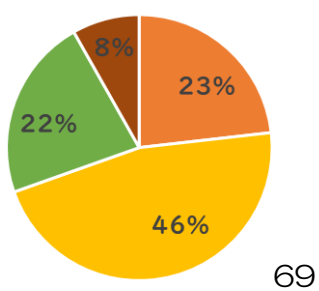


後期

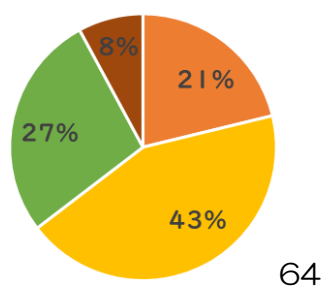


11. ミライシードを活用している。

前期

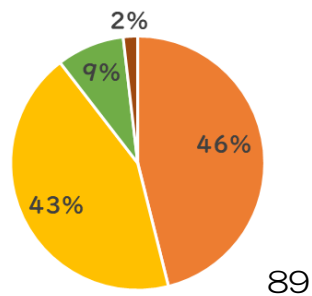


後期

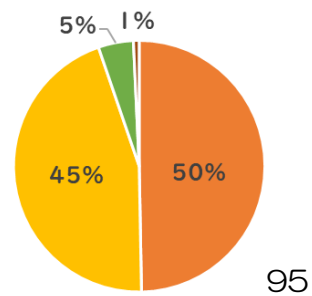


12. 学校行事や学級の実践に積極的に参加している。

前期

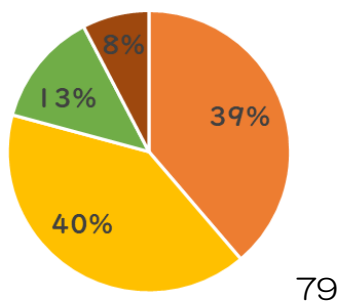


後期

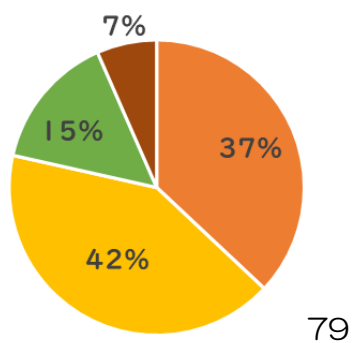


13. 気軽に相談できる先生がいる。

前期

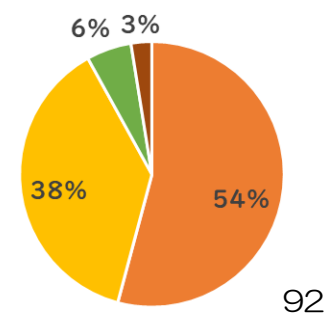


後期

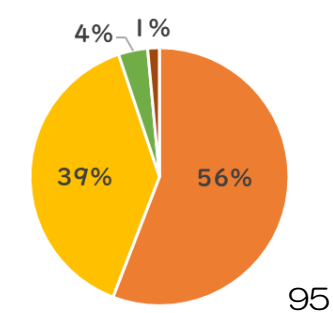


14. 自分を大切にしている。

前期

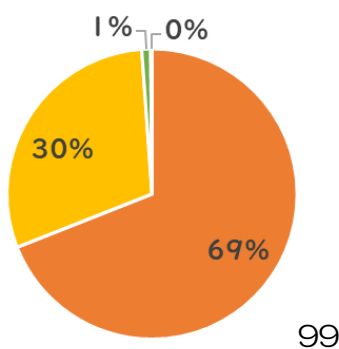


後期

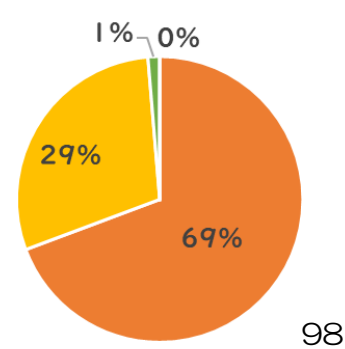


15. まわりの人を大切にしている。

前期

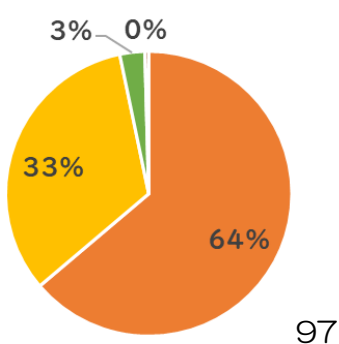


後期

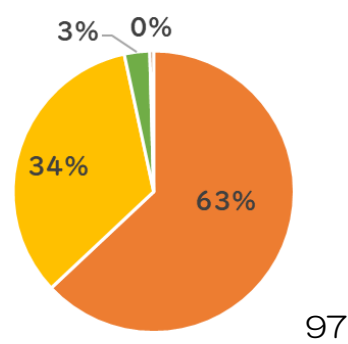


16. 仲間の良いところを見つけようとしている。

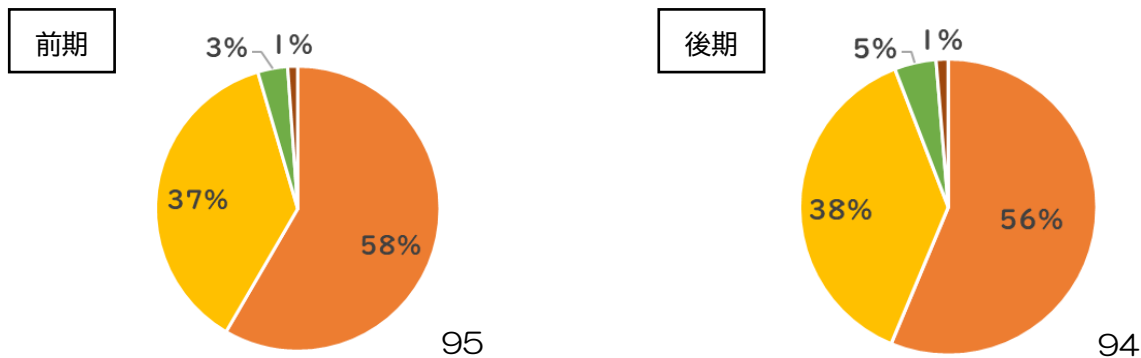
前期



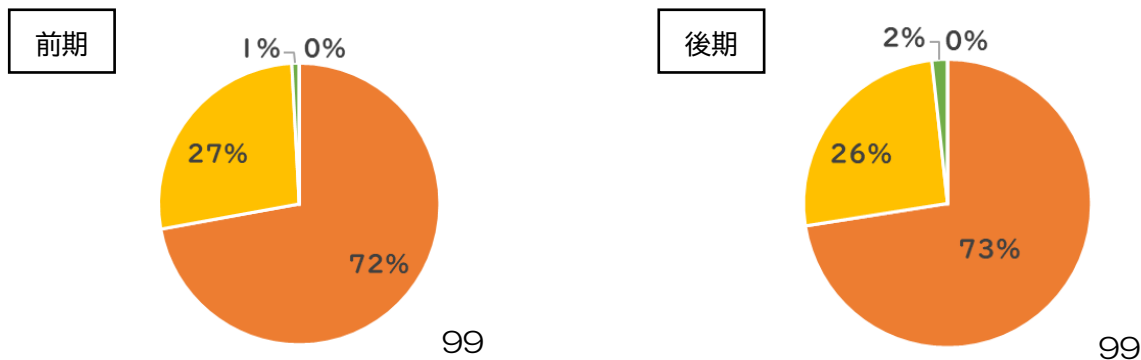
後期



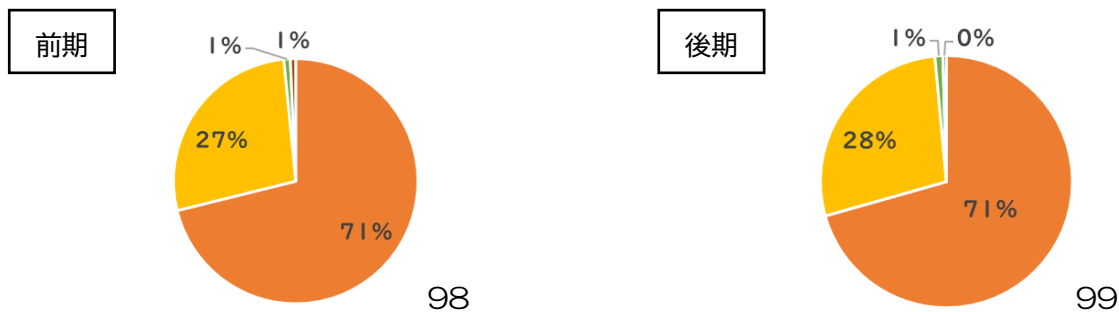
17. いじめを許さない仲間づくりができている。



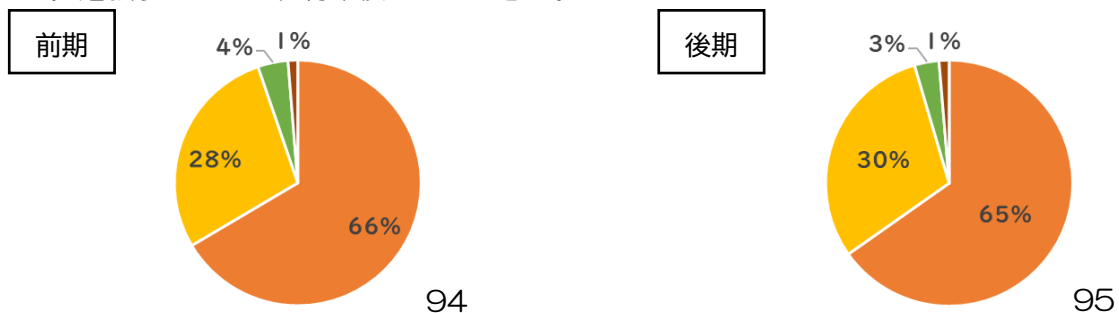
18. 登下校時の交通ルールや、駅・電車・バスのマナーを守っている。



19. インターネット上のマナーや危険性を理解して、スマートフォンやタブレット等を使用している。



20. 勉強することが、将来役に立つと思う。



＜分析およびこれからの生活に向けて＞

学校での生活や友達との過ごし方については9割以上の生徒が充実した毎日を送ってくれているようです。今年度、学校教育方針として凡事徹底「人・時間・モノを大切にする」を新たに取組みました。また、洛中しぐさ「気持ちのいいあいさつ・正しい言葉遣い・他者を思いやる立ち振る舞い」についても取り組んでいます。

「すすんで挨拶をしている」と答えた生徒は、Aのそう思う Bの大体そう思うと肯定的な回答をした生徒は91%でした。また、「時間を大切にしている」と答えた生徒は97%で、「まわりの人を大切にしている」と答えた生徒は99%でした。

さらに「学校のきまりは守れている」が98%、「仲間の良いところを見つけようとしている」が97%と非常に高い結果でした。クラスがまとまり、友達や仲間のやさしさや頑張りを互いに認め合い、評価しあえることで友好的な関係が維持できています。また、自ら奉仕的に献身的に行動できる生徒が増えており、気がつく優しい生徒が多く誕生しています。困っている人がいたら助けてあげたい、人の役に立ちたいと思っている生徒が非常に多くやさしく、思いやりのある生徒が多いと感じます。

また、いじめは絶対にダメ、許さないという強い信念があり、日々の学級指導や生徒会活動を通しての意識が生きている。自分たちの学校を自分たちの手でよくしていこうと校則見直しを行いプロジェクトチーム「洛中の誓い ～自ら・君から・カッコいいから～」を立ち上げて正しい標準服の着こなしや学校生活の約束について生徒会を中心として取組、全校生徒に発信しています。

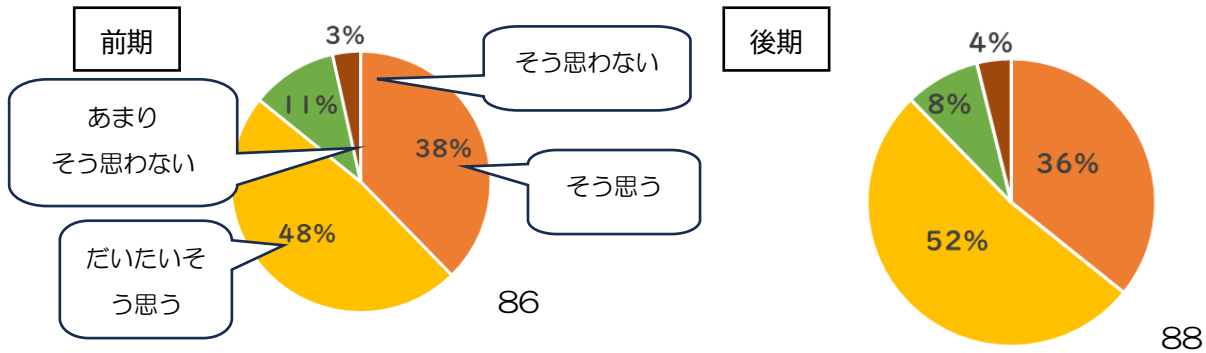
学習面においては、「授業ですすんで学習に取り組んでいる」が93%で前期よりも3ポイント上昇しました。「わかりやすい授業が行われている」では92%と昨年度より10ポイントも上昇しました。コロナ禍以後、一気にタブレットを活用した授業がすすみ「ロイロノート」「ミライシード」等 ICT教材が使われるようになりました。これらの導入によりこれまでの「受け身型」の学習から「参加型」の学習スタイルに大きくスタイルが変わることとなりました。それにより、授業の楽しさや理解が深まる結果につながっています。「家庭学習」においても前期の69%から75%と大きく伸びました。3年生が受験勉強に励みだした。という要素も考えられますが全体通して課題解決、弱点克服に打ち込んでいる様子も伺えます。ぜひ「ミライシード」を効果的教材として活用しましょう。

生活面においては、「規則正しい生活ができている」が77%と3%上昇しました。アンケート結果では、洛北中の生徒の就寝時間は全国や京都市平均と比べると遅いが起床は同じくらいの時間でした。従って、洛中生徒の睡眠時間は短いです。また、平日の「1日にゲームをする時間」や「ケータイ・スマホの使用時間」は2～3時間と全国平均に比べ多く、土日の使用はやや少ない傾向にあります。1日に4時間以上もゲームやスマホを使っている生徒もいます。夜遅くまで使っている生徒もいました。睡眠不足が続くと学校生活にも大きな影響を及ぼします。授業に集中できない、頭痛や倦怠感をもたらすなど心身に影響することが考えられます。また、その状態で部活動をするとケガをする可能性も高まるし登下校中の事故にもつながることが考えられます。

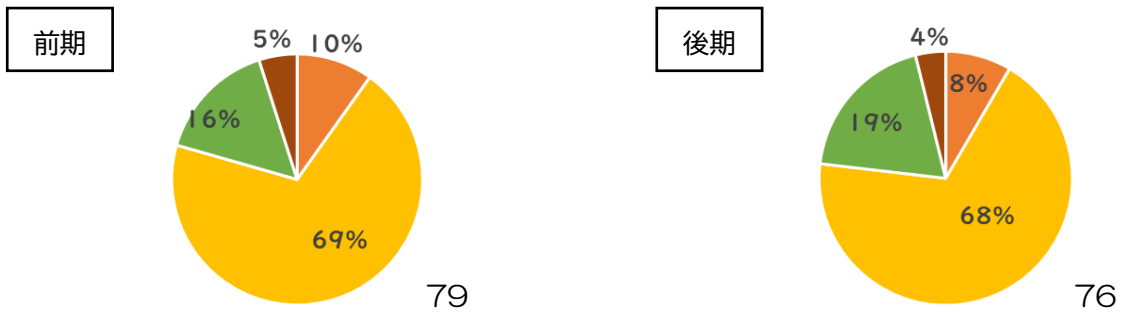
朝の登校時間では、下鴨署交通課の方が12月以降3回調査に来られ、通行車輛の台数や叡電が着いた時の生徒の流れ、登校時の生徒の動線等を確認されました。学校運営協議会では、朝の時間「中町本通り」の車輛を止められないかと関係各所をお願いをしてくださいました。車輛を止めることは条件が厳しいため互いにとって良い解決策を提案するということで「登校時間迂回していただく」の協力を願う回覧を各自治会で配布してもらっています。学校の方でも交通安全教室の実施、交通ルール・歩行マナーの意識の向上、行動の改善等を行っていくことが大切と考えます。

<令和6年度 学校評価 保護者アンケート>

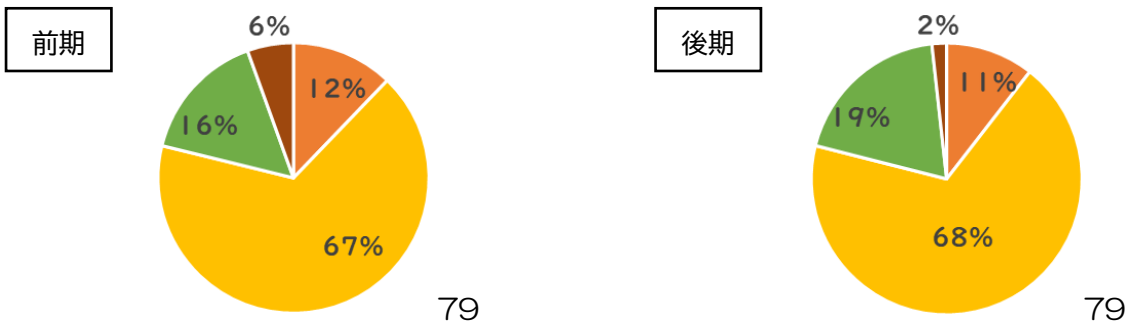
1. 子どもは充実した学校生活を送っている。



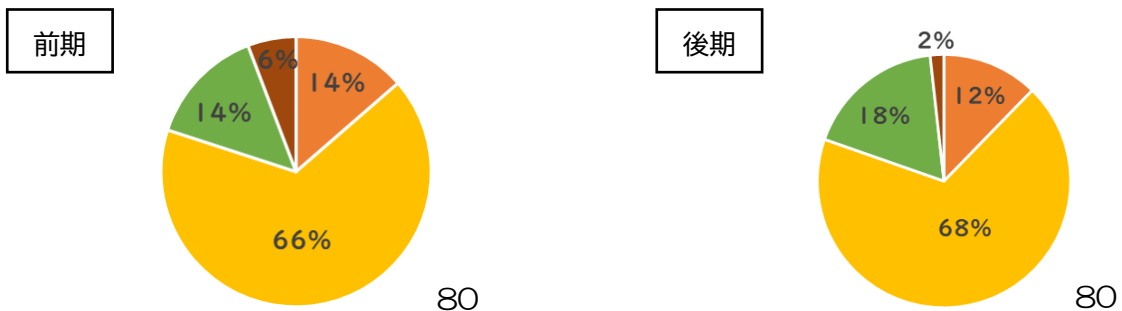
2. わかりやすく、工夫された授業が行われている。



3. ふれあいや対話を大切にした、いじめを許さない集団づくりができています。

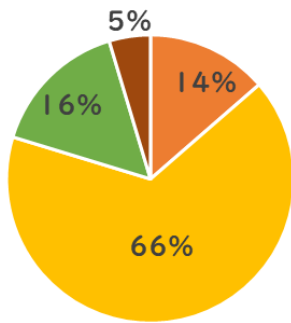


4. 仲間を大切にした集団づくりが、学級や学年で行われている。

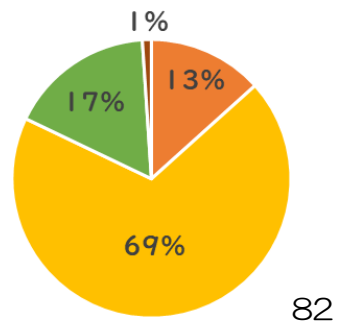


5. 互いの良いところを認め合い、人権を大切にした取組が行われている。

前期

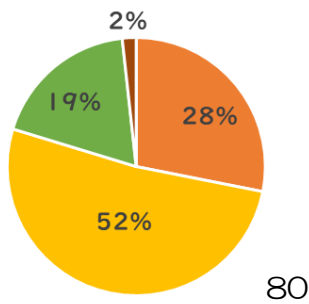


後期

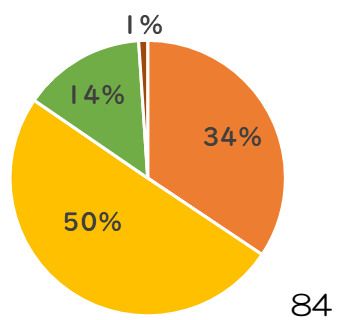


6. 子どもはすすんであいさつをしている。

前期

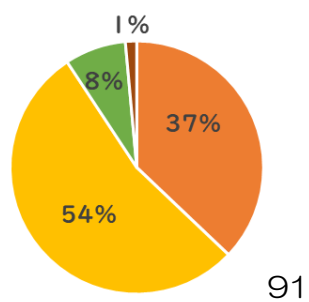


後期

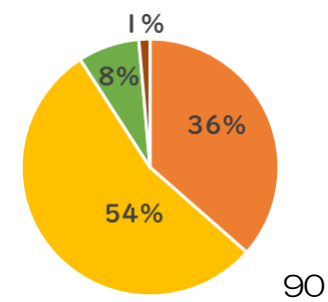


7. 子どもは学校のきまりや約束を守って生活している。

前期

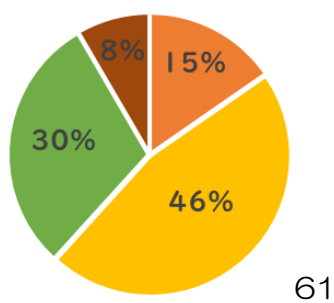


後期

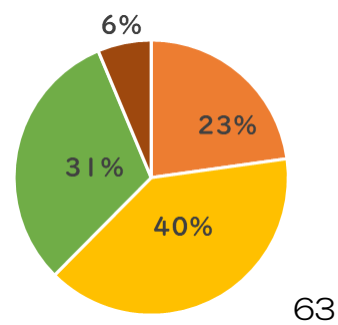


8. 子どもには気軽に相談できる先生がいる。

前期

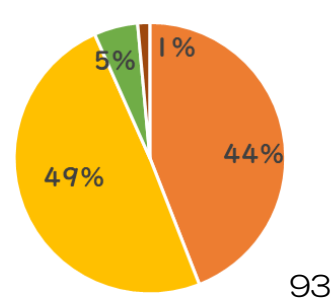


後期

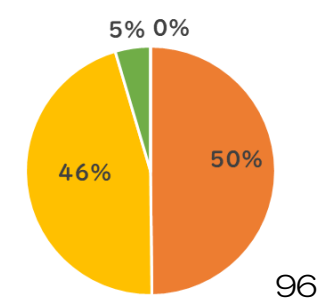


9. 家庭で子どもと話をする時間をとっている。

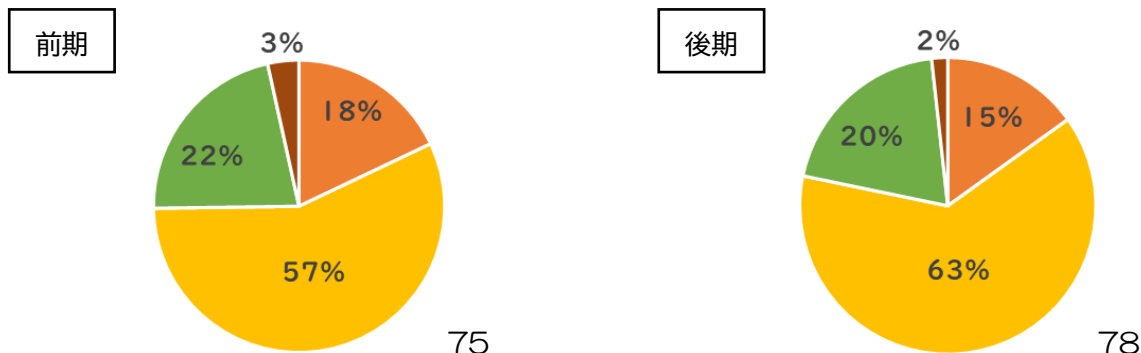
前期



後期



10. 学校や生徒の様子は、学級通信やホームページを通してよくわかる。



＜アンケート結果より＞

たくさんのご意見をいただきありがとうございました。

まずは生徒たちが安心して通える学校づくりを行っていく必要があると感じています。

授業については、わかりやすく、楽しい授業を展開し、「今日の授業ではこれを学んだ」と達成感を感じられるような授業となるよう研究と工夫をしていきます。その為にも「教科会」を大切にして、共通の教材や進め方を統一して必要があります。また、評価評定についても共通理解が進むよう研修をしていきます。

次に「気軽に相談ができる先生がいる」で37%のご家庭で「いない」と回答されています。信頼される身近な大人として「相談してみようと思える存在」となるよう普段から子どもたちの様子や言葉に寄り添い、見守りを続け、変化を見逃さずキャッチしてやりたいと思います。その為にもっと子供たちの傍にいたる時間を長くします。

子どもとの時間をとっていただきありがとうございます。なんと96%の方が「家庭で話す時間をとっている」と回答されています。お忙しい中、またお仕事もされている方が多い中、少しでも子どもたちと話をし様子を知っていただく姿勢に感謝いたします。ありがとうございます。先日、明治大学の齋藤 孝 教授のご講演を聞きましたが、その話の中でも「子どもが話をしてくれる家庭」と「話をしなくなる家庭」のちがいについてありました。

子どもが話をし始めた時に「へえ、すごいね」「それから」「どうなったの」と反応してあげると「うちの家はしゃべってもいいんだ」と思い、いろいろと学校であったことを話してくれるようになるそうです。一方、「今忙しいの、あとにして」「人のことはいいから」「それより勉強しなさい」「宿題あるんでしょ」「うるさい」と言っていると、何も話さなくなると言っておられました。

また、学校への関心も多くの方が持っておられました。これからも生徒たちの日々の学校生活での様子や部活動等についてもホームページや学級通信にて紹介していきます。もっと授業の様子や学年の取組、部活動についてあげて欲しいとありましたので多く紹介していきます。なので、見てください。多くの方に見てもらえると嬉しいです、励みになるのでよろしくお願いします。